

～駅のホームの安全性向上にむけて～ 「ホーム安全スクリーン」の使用開始について

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を加速してまいります。また、ホーム柵・ホーム安全スクリーンの整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の2027年度の到達目標として着実に進めることで、ホームからの転落による列車とお客様の接触事故の防止を図ってまいります。

このたび、2023年度の「ホーム安全スクリーン」の使用開始時期が決まりましたので、お知らせします。

設置箇所と使用開始時期

線区名	駅名	のりば	使用開始時期 ^{※1}
JR ゆめ咲線/大阪環状線	桜ノ宮	1・2番	2023年12月22日
JR 京都線	摂津富田	2・3番	2024年1月15日
JR 神戸線	元町	1～4番	2024年1月下旬
JR 東西線	海老江	1・2番	2024年2月下旬
おおさか東線（はるか/くろしお）	新大阪	1～3番	2024年3月上旬
JR 神戸線	垂水	1・2番	2024年3月上旬
JR 京都線	桂川 ^{※2}	1・2番	2024年3月中旬
JR 神戸線	須磨 ^{※2}	1～4番	2024年3月中旬
阪和線/関西空港線	天王寺	1～9番	2024年3月下旬
阪和線	鳳	1～5番	2024年3月下旬

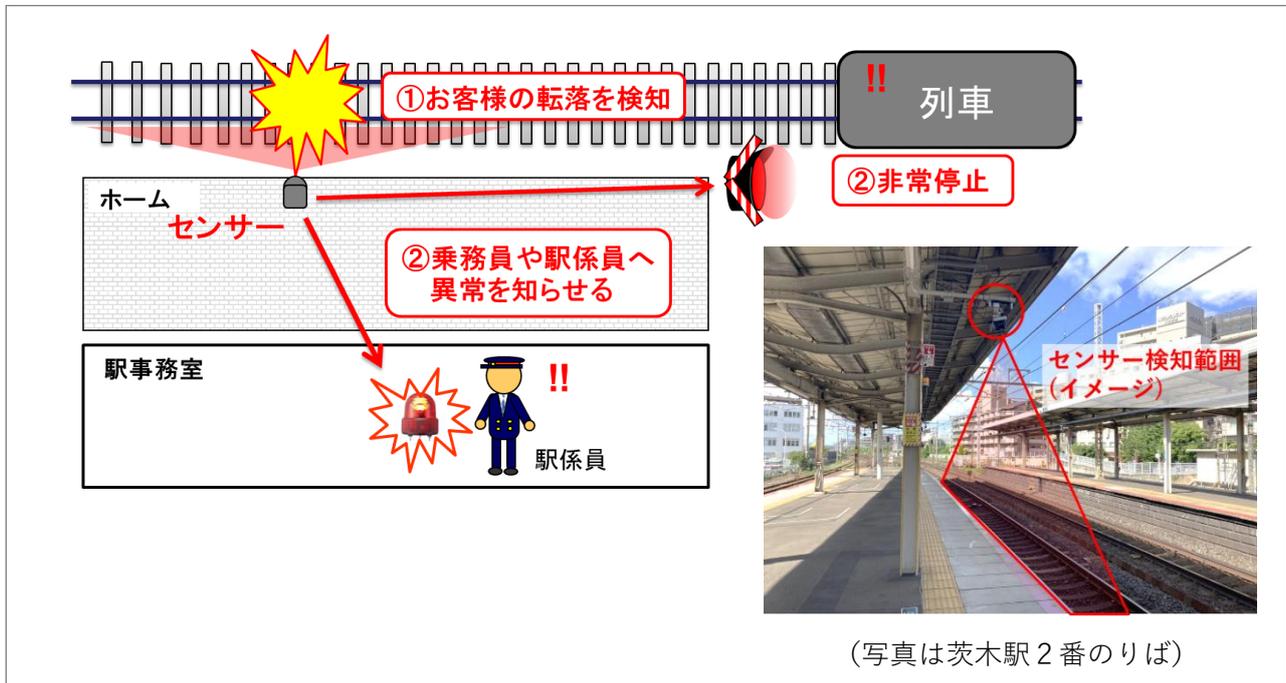
※1 使用開始時期は、工事の進捗状況により変更することがあります。決まり次第、当該駅にてお知らせいたします。

※2 ホーム上の屋根等がある範囲の整備を完了します。ホーム上の屋根等がない範囲の整備は引き続き進めてまいります。

[参考]

○「ホーム安全スクリーン」の概要

ホーム上の屋根等に取り付けたセンサーにより、お客様の転落を検知して速やかに列車を止めるシステムです。



○ホーム安全スクリーン整備済み駅（2023年11月末時点）

茨木駅	1～4番のりば	放出駅	1～4番のりば	福島駅	1番・2番のりば
兵庫駅	1～4番のりば	芦屋駅	2番・3番のりば		

※鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備
(2022年8月19日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

※鉄道駅バリアフリー料金制度によるホーム柵、ホーム安全スクリーンの整備計画について
(2023年6月14日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2023/06/page_22694.html

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

JR | **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**
JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

